

令和5年度

保護者様向け

放課後等デイサービス評価表

児童発達支援事業所たけのこ川島

回収率 57%

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 未記入 | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|------------------|---|--|------|---------------|-----|-----|---|---------------------------------------|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 92% | 8% | 0% | 0% | | |
| | 2 | 職員の配置数や専門性は適切であるか | 92% | 8% | 0% | 0% | | |
| | 3 | 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか | 77% | 15% | 0% | 8% | | |
| 適切な 支援の 提供 | 4 | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか | 100% | 0% | 0% | 0% | ・次々と起こってくる子供の問題行動に対して、その時々で適切に、かつ丁寧に対応していただけるので、本当に有難いです。 | お子様に合ったニーズで計画できるよう、お子様自身からもお話を聞いています。 |
| | 5 | 活動プログラムが固定しないよう工夫されているか | 100% | 0% | 0% | 0% | | |
| | 6 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 23% | 46% | 23% | 8% | | |
| | 7 | 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 92% | 8% | 0% | 0% | | |
| | 8 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 100% | 0% | 0% | 0% | ・ノートや口頭などで詳しく伝えて下さり、また、こちらの困り事を相談すると課題に取り入れて下さり、助かります。 | 安心してご利用いただけるよう、今後も努力してまいります。 |

| | | | | | | | | |
|----------|----|--|------|-----|-----|----|----------------------------|--|
| 保護者への説明等 | 9 | 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 100% | 0% | 0% | 0% | ・いつもアドバイスを頂いて、とても助かっています。 | モニタリングや担当者会議以外でも面談可能です。いつでもお声がけください。 |
| | 10 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 23% | 23% | 46% | 8% | | |
| | 11 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 77% | 15% | 0% | 8% | ・苦情を聞いたことが無い。 | 何かありましたら迅速な改善に努めます。 |
| | 12 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 100% | 0% | 0% | 0% | ・毎回丁寧に教えて頂いており、わかりやすいです。 | 今後も、活動の様子が詳しく伝わるような工夫をしてまいります。 |
| | 13 | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか | 62% | 31% | 0% | 8% | | |
| | 14 | 個人情報に十分注意しているか | 100% | 0% | 0% | 0% | | |
| 非常時等の対応 | 15 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか | 85% | 8% | 0% | 8% | | |
| | 16 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 92% | 0% | 0% | 8% | | |
| 満足度 | 17 | 子どもは通所を楽しみにしているか | 92% | 8% | 0% | 0% | | |
| | 18 | 事業所の支援に満足しているか | 100% | 0% | 0% | 0% | ・とても満足しています。今後も宜しくお願い致します。 | できるだけご要望に応えられるよう、これからも保護者の皆様とのコミュニケーションを大切にまいります。今後ともよろしくお願いいたします。 |

令和5年度

保護者様向け

児童発達支援評価表

児童発達支援事業所たけのこ川島

回収率 92%

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 未記入 | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|-------------|---|---|------|---------------|-----|-----|---|---|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 100% | 0% | 0% | 0% | | |
| | 2 | 職員の配置数や専門性は適切であるか | 91% | 9% | 0% | 0% | ・よくしていただいているが、送迎等してもらい先生の数が少ないと大変なのではと思う。 | 配置数は定められた条件を満たしています。ご心配やご不安が無いよう努めてまいります。 |
| | 3 | 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | 91% | 0% | 0% | 9% | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | 100% | 0% | 0% | 0% | | |
| 適切な支援の提供 | 5 | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか | 91% | 0% | 0% | 9% | | |
| | 6 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 82% | 0% | 0% | 18% | | |
| | 7 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | 100% | 0% | 0% | 0% | | |

| | | | | | | | | |
|----------|----|--|------|-----|-----|-----|---|--|
| | 8 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか | 91% | 9% | 0% | 0% | | |
| | 9 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 55% | 9% | 0% | 36% | | |
| 保護者への説明等 | 10 | 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 100% | 0% | 0% | 0% | | |
| | 11 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか | 91% | 0% | 0% | 9% | | |
| | 12 | 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか | 91% | 9% | 0% | 0% | | |
| | 13 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか | 91% | 9% | 0% | 0% | ・子どもの様子をていねいに教えて下さり、いつも安心してお世話になることができます。 | 今後も、活動の様子が詳しく伝わるような工夫をまいります。 |
| | 14 | 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 100% | 0% | 0% | 0% | ・時々不安なことを先生に聞いていただき、親身になって対応していただいている。 | 定期的なモニタリングや計画説明の時以外でも面談は可能です。いつでもお声がけください。 |
| | 15 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 27% | 18% | 36% | 18% | | |
| | 16 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか | 100% | 0% | 0% | 0% | | |
| | 17 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 100% | 0% | 0% | 0% | | |
| | 18 | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか | 82% | 9% | 0% | 9% | | |

| | | | | | | | | |
|---------|----|--|------|----|----|----|---|--|
| | 19 | 個人情報の取扱いに十分注意されているか | 100% | 0% | 0% | 0% | | |
| 非常時等の対応 | 20 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか | 73% | 9% | 9% | 9% | | |
| | 21 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 91% | 0% | 0% | 9% | | |
| 満足度 | 22 | 子どもは通所を楽しみにしているか | 100% | 0% | 0% | 0% | <ul style="list-style-type: none"> ・先生のこと大好きで非常に楽しく通わせてもらっています。 ・たけのこでの活動を毎回楽しみに行ってます。先生との話の内容もよく教えてくれて、丁寧に支援してくれているようで感謝しています。 | 安心してご利用いただけるよう、お子様に合わせた工夫もさらに行ってまいります。 |
| | 23 | 事業所の支援に満足しているか | 100% | 0% | 0% | 0% | | |

令和5年度

事業所職員向け

放課後等デイサービス自己評価表

児童発達支援事業所たけのこ川島

回収率 100%

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標・工夫している点など |
|-------------|---|---|------|---------------|-----|--|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 100% | 0% | 0% | ・密にならないように部屋を使い分けて使用している。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | 100% | 0% | 0% | |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 45% | 45% | 9% | ・該当する利用児がおらず、着手できていない。 |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | 100% | 0% | 0% | ・業務改善について目標を設定し、定期的に見直しを行っている。 ・全員が話し合いに参加できるよう、勤務についても工夫を行っている。 |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 100% | 0% | 0% | ・評価や意見をもとに話し合っている。 |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 100% | 0% | 0% | ・玄関に掲示している。 ・ホームページで公開している。 |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 0% | 18% | 82% | |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 100% | 0% | 0% | ・定期的に研修を行っている。 ・事業所外の研修にも積極的に参加している。 ・研修後にはフィードバックを行い、情報を共有している。 |
| | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 100% | 0% | 0% | |

適切な支援の提供

| | | | | | |
|----|--|------|-----|----|---|
| 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 73% | 27% | 0% | ・S-M社会生活能力検査等のアセスメントツールを用いている。 |
| 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 100% | 0% | 0% | ・グループワークやレクリエーションなどは職員の意見を聞いて決めている。その中で司会などは担当制で行っている。 |
| 12 | 活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか | 100% | 0% | 0% | ・職員間でアイデアを出し合ったり、レクリエーション等は担当をローテーションにしたりと工夫している。 |
| 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 100% | 0% | 0% | ・会議を行い、気温や季節にも配慮しながら課題を設定している。 ・長期休暇には職場体験なども取り入れている。 ・調理実習など、じっくりと取り組む課題を多く取り入れている。 |
| 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | 100% | 0% | 0% | |
| 15 | 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 100% | 0% | 0% | ・朝礼にて具体的な支援内容について打ち合わせをしている。申し送りノートを使用し支援内容を共有している。 ・内容や役割分担について職員間で声掛けを行いながら確認、実行できている。 |
| 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 100% | 0% | 0% | ・終礼時にその日あったことや気づいたことを報告し共有している。 |
| 17 | 日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 100% | 0% | 0% | ・日々の支援記録に加え行動記録を取って分析し、支援に活かしている。 |
| 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 100% | 0% | 0% | ・定期的なモニタリングだけでなく、目標達成時にも見直しを行っている。 |
| 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか | 100% | 0% | 0% | |
| 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 100% | 0% | 0% | ・児童発達支援管理責任者とその利用児をよく知る者が一緒に参画している。 |
| 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | 100% | 0% | 0% | ・保護者との連絡が主であり、学校との情報共有はまだ少ない。 |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|-----------------------------------|------|-----|--|
| 関係機関や保護者との連携 | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | 27% | 18% | 55% | ・該当児なし。 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 82% | 9% | 9% | ・保育士の方が事業所へ見学に来る等、活発に交流して情報共有を行っている。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 100% | 0% | 0% | ・B型就労移行時には情報提供を行った。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 100% | 0% | 0% | ・子ども部会などを通じ、研修会に参加する機会を得ている。 |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 18% | 36% | 45% | |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | 100% | 0% | 0% | |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 100% | 0% | 0% | ・送迎時に活動の様子などを報告、利用時の様子をノートに記して写真なども添えて報告している。 ・必要に応じて電話での報告も行っている。 |
| | 29 | 保護者の適応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | 55% | 9% | 36% | ・ペアトレは行っていないが、相談があったときに事業所で成功した支援方法などを伝えている。 |
| | 保護 | 30 | 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 100% | 0% | 0% |
| 31 | | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 100% | 0% | 0% | ・相談があるときには事業所内での様子と共に、行っている支援について具体的に伝えている。 ・必要に応じて代表に相談している。 ・送迎時に利用中の様子を報告している際、悩み事についての相談に答えることもある。 |
| 32 | | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 45% | 18% | 36% | |

| | | | | | | |
|-----------|----|---|------|-----|-----|--|
| 疎者への説明責任等 | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 91% | 9% | 0% | <ul style="list-style-type: none"> ・ご意見箱を設置している。 ・苦情があればすぐに児童発達支援管理責任者に報告し、対応している。その後の情報共有も行っている。 |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 91% | 9% | 0% | <ul style="list-style-type: none"> ・会報はないが、活動の様子は連絡帳に写真を貼るなどして個別に報告している。 ・行事予定を記載したカレンダーを渡している。 ・必要に応じて手紙、LINE、電話を使い、情報を共有している。 |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | 100% | 0% | 0% | <ul style="list-style-type: none"> ・日報や連絡帳は、訪問者に見えないよう工夫している。 |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 91% | 9% | 0% | <ul style="list-style-type: none"> ・絵カードや写真カードなどを使い、意思の疎通を行っている。 ・手紙やメモ、LINEを用いて情報伝達を行っている。 |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っているか | 82% | 9% | 9% | <ul style="list-style-type: none"> ・夏祭りやたけのこカフェなどにご招待している。 ・年賀状や暑中見舞いを送り、交流を図っている。 |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 100% | 0% | 0% | <ul style="list-style-type: none"> ・玄関にマニュアルを設置し、契約時に伝えている。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 100% | 0% | 0% | <ul style="list-style-type: none"> ・火災、水害、地震など、月替わりで行っている。 ・防災学習として防災バグの点検や防災センターでの体験学習をしている。 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 100% | 0% | 0% | <ul style="list-style-type: none"> ・毎月研修を行っている。事例検討もしている。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 82% | 9% | 9% | <ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束マニュアルはあるがサービス計画への記載はしていない。 |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 64% | 18% | 18% | <ul style="list-style-type: none"> ・医師の指示書はない。 ・契約時に確認するとともに、年度初めにアンケートにて確認している。 ・保護者からの情報を基に対応している。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 100% | 0% | 0% | <ul style="list-style-type: none"> ・危険事例があった場合はヒヤリハットに記入し、ミーティングにて情報共有をしている。 |

令和5年度

事業所職員向け

児童発達支援自己評価表

児童発達支援事業所たけのこ川島

回収率 100%

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点、課題や改善すべき点など |
|-----------------|---|------|---------------|-----|---|
| 環境・ 体制 整備 | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 100% | 0% | 0% | ・コロナ禍で密にならないように時間をずらすなどの工夫や、部屋割を工夫するなどの環境設定をしている。 |
| | 2 職員の配置数は適切であるか | 100% | 0% | 0% | |
| | 3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | 91% | 0% | 9% | ・玄関に段差があるが、今は該当児がいないためバリアフリー化に着手できていない。 ・登所時の手順についてカード等にて提示し、わかりやすくしている。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | 100% | 0% | 0% | ・毎日の清掃や消毒、換気などにより清潔に保たれている。 ・温度調節を行い、過ごしやすい環境を作っている。 |
| 業務 改善 | 5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | 100% | 0% | 0% | ・定期的に話し合いを行っている。 |
| | 6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 100% | 0% | 0% | ・評価表をもとに話し合い、業務改善に努めている。 ・保護者からご家庭での様子や希望を聞き、職員間で共有して改善に活かしている。 |
| | 7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 100% | 0% | 0% | ・玄関に掲示し、保護者にも渡している。 ・ホームページで公開している。 |
| | 8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 18% | 0% | 82% | |

| | | | | | | |
|----------|----|---|------|----|----|---|
| | 9 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 100% | 0% | 0% | <ul style="list-style-type: none"> ・年間で研修計画を立て実行している。 ・事業所内外の研修に参加している。 ・定期的に研修を行っている。 |
| 適切な支援の提供 | 10 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか | 100% | 0% | 0% | |
| | 11 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 91% | 0% | 9% | |
| | 12 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 100% | 0% | 0% | |
| | 13 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | 100% | 0% | 0% | |
| | 14 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 100% | 0% | 0% | <ul style="list-style-type: none"> ・グループワークやレクリエーションなどは職員の意見を聞いて決めている。その中で司会などは担当制で行っている。 |
| | 15 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 100% | 0% | 0% | <ul style="list-style-type: none"> ・職員間でアイデアを出し合ったり、レクリエーション等の担当をローテーションにしたりと工夫している。 |
| | 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか | 100% | 0% | 0% | |
| | 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 100% | 0% | 0% | <ul style="list-style-type: none"> ・朝礼時に詳しく話し合い、確認している。また、申し送りノートを使用して支援内容を共有している。 |
| | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか | 100% | 0% | 0% | <ul style="list-style-type: none"> ・終礼時にその日あったことや気づいたことを報告し、共有している。 |
| | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 100% | 0% | 0% | <ul style="list-style-type: none"> ・個々の記録として毎日行っている。申し送りなどを行い、改善している。 |
| | 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか | 100% | 0% | 0% | |
| | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 100% | 0% | 0% | |

関係機関や保護者との連携

| | | | | | |
|----|---|------|----|-----|--|
| 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか | 100% | 0% | 0% | |
| 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか | 36% | 0% | 64% | ・該当児なし。 |
| 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか | 36% | 0% | 64% | ・該当児なし。 |
| 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | 100% | 0% | 0% | ・情報共有として保育所やこども園の担任も見学に来てもらっている。 |
| 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | 82% | 0% | 18% | |
| 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 100% | 0% | 0% | ・子ども部会などを通じ、研修会に参加する機会を得ている。 |
| 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 55% | 0% | 45% | ・図書館を利用するなどし、地域との交流を図っている。 |
| 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか | 100% | 0% | 0% | |
| 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 100% | 0% | 0% | ・送迎時に活動内容などを伝えている。また、連絡帳に活動の様子をの写真を貼り、状況を共有している。 |
| 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか | 55% | 0% | 45% | ・ペアトレは行っていないが、相談があったときに事業所で成功した支援方法などを伝えている。 |
| 32 | 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 100% | 0% | 0% | ・契約時にわかりやすく伝えている。 ・改定時にも行っている。 |
| 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか | 100% | 0% | 0% | |

| | | | | | | |
|------------|----|---|------|----|-----|--|
| 保護者への説明責任等 | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 100% | 0% | 0% | ・事業所での支援方法を伝えるなどしている。 |
| | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 36% | 0% | 64% | |
| | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 100% | 0% | 0% | ・代表や児童発達支援管理責任者に報告し、迅速かつ適切に対応している。 ・子供からの相談には環境を整えて傾聴している。 |
| | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 91% | 0% | 9% | ・会報はないが、活動の様子は連絡帳に写真を貼るなどして個別に報告している。 ・行事予定を記載したカレンダーを渡している。 |
| | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意しているか | 100% | 0% | 0% | ・日報や連絡帳など、訪問者に見えないよう工夫している。 |
| | 39 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 100% | 0% | 0% | ・写真カードや指示カード、ジェスチャーなど、視覚的な工夫もしている。 ・口頭連絡だけでなく、必要に応じてメモやLINEなどを活用している。 |
| | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 82% | 0% | 18% | ・夏祭りなどにご招待している。 ・ボランティアに来ていただき、読み聞かせの会を行っている。 |
| 非常時等の対応 | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか | 100% | 0% | 0% | ・玄関にマニュアルを設置している。 ・実践演習として、嘔吐があった場合や感染症に罹っていた場合を想定した訓練を行っている。それに伴って必要な備品を点検し、改善している。 |
| | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 100% | 0% | 0% | ・毎月実施している。 ・防災バグの点検なども行っている。 ・実施予定については玄関に掲示している。 |
| | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか | 100% | 0% | 0% | ・見学の際や契約時に確認し、その後も定期的に確認している。 ・事前に確認し、職員間で情報共有している。 |
| | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 27% | 0% | 73% | ・医師の指示書はない。 ・契約時に確認するとともに、年度初めにアンケートにて確認している。 ・保護者からの情報を基に対応している。 |
| | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 100% | 0% | 0% | ・危険事例があった場合は、ヒヤリハットに記入し、ミーティングにて情報共有をしている。 |
| | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 100% | 0% | 0% | ・毎月研修を行っている。 ・虐待の報道などがあればそのつど話し合いをしている。 |
| | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか | 82% | 0% | 18% | ・外部研修に参加したり、2か月に1回事業所内研修を行っているため、身体拘束の要件については職員に周知している。 ・虐待防止委員会、身体拘束適切化検討委員会を設置している。 |